

亜には、日本を代表する企業にふさわしい対応が求められています。

損害保険会社が介護分野に進出して 儲けを追求！？

損保ジャパン日本興亜の金融持ち株会社（親会社）であるSOMPOホールディングスは、“今後の経営の大きな柱”として介護事業の展開をおこなっています。

その具体的な取り組みとして、『ワタミ』の介護部門の買収（現・SOMPOケアネクスト）や、『メッセージ』社の子会社化（現・SOMPOケアメッセージ）を行ないました。

『ワタミ』は、従業員の過労死が社会的な大問題となり、2015年12月に裁判で和解の条件として「過重労働再発防止策」が盛り込まれるなど、画期的な解決となりました。

『メッセージ』グループの傘下には、入居者が相次いで転落死し、従業員が殺人罪で逮捕された川崎の老人ホーム「Sアミーユ川崎幸町」があり、介護現場の労働条件の改善が急務であるとの世論をよびおこしました。



SOMPOホールディングスグループでの介護事業の従業員は約2万5千人、グループ（連結ベース）の全従業員4万5千人の56%を占めています。

介護は、社会的にも、その充実が求められている社会保障の分野です。また、現状の劣悪な介護産業の労働環境の改善が問われています。

利益第一であってはならない産業です。

この介護の分野で収益を上げよう（儲けよう）とはどういうことでしょうか。

小畑裕久さんは、日産火災で27年、損保ジャパンで11年、あわせて38年間、保険金支払いの現場で一生懸命働いてきました。

60歳の定年をひかえて、再雇用を希望しましたが拒否され、「異議申し立て」をして会社と交渉しましたが、会社からは明確な理由も示されないまま時間切れとなり、2013年3月末退職を余儀なくされました。

大阪地裁の不当判決を覆すべく、新たな証拠も提出し公正な裁判を求めて大阪高裁に控訴しました。私たちは、小畑さんのたたかいとあわせて、損保ジャパン日本興亜の職場をよくするため、営業職場への「企画業務型裁量労働制」の導入など労基法違反の労務管理の是正や、希望退職という名の「退職強要」に代表される従業員の人格・人権・生活を無視した会社政策とのたたかいを引き続き継続していきます。



ご支援をよろしく
お願いします。

小畑さんの職場(損保ジャパン)復帰を実現する会

2017年初夏

〒541-0045 大阪府中央区道修町3-3-10 日室道修町ビル3階 大阪損保革新懇気付 TEL06-6232-1095